

みんなの力でとりました

ビバ! コーラス賞

第67回奈良市立中学校合同音楽会



いつまでも 作詞・作曲：若松 歓

忘れられない あの海の香り
少女だったころの あなたが泳いだ海を
忘れられない おの山の光
あかね色空が消えるまで あなたと眺めてた

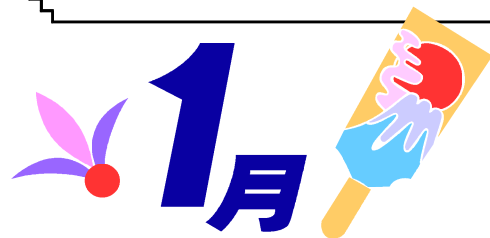
故郷よ 故郷よ
まぶしかった 遠き日の思い出
故郷よ 故郷よ
いつまでも この胸に



忘れられない あの丘の風を
明日を語りながら あなたと歩いた丘を
あの街もきっと 変わってしまったけれど
雨上がりに会えた虹の空 今でも色あせはしない

故郷よ 故郷よ
優しかった 父と母の面影
故郷よ 故郷よ
いつまでも この胸に

2007年に発表された合唱曲。現代版「ふるさと」といえるこの曲は、何年、何世紀たっても変わらないでほしい日本の風景、そして大切な故郷や両親への思いが込められています。



いつもの練習と同じ、気合いの入った顔で100年会館のステージに2年生が上がりました。この日に向けて一生懸命練習してきたからこそその堂々とした表情がうかがえます。いよいよその時が来ました。

つよく響き渡る歌声、流れるメロディー、みんなの意気込みが一つになって会場全体に響き渡りました。ピアノ伴奏もすばらしい演奏でみんなを盛り上げます。木村先生の流れるような指揮にも拍車がかかります。

まじめに誰もが先生の表情を真剣に見つめ、ものすごい集中力でした。ハーモニーの美しさと歌声の響きに、会場から思わず「すごい」のため息が聞かれました。

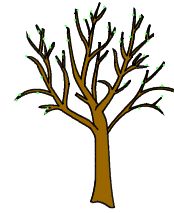
できはバツグンというすばらしい歌声は、歌詞の意味を考えて歌っているからこそ、思いが伝わり、感動を聞いている人に届けることができたのです。みんなの思いが一つになった瞬間です。

もうこれ以上ないという「ビバ!コーラス賞」をいただきました。一生懸命がんばって、なかまと協力しあう気持ちがあったからこそその成果です。みんなが一つになってがんばれば、こんなすごいことができるのです。終わったあとの心地よい疲労感と達成感はどうでしたか？ これは何事にもかえられない貴重な体験です。よくやりました。これからのいろんな活動にしっかりと取り組んでいきましょう。

ヒカリ

作詞：瀬戸 沙織
作曲：松下 耕

枯れた大地に独り
闇を恐れ光を求め
大地も空も闇に覆われた孤独
星々はなくあるのは焼けた月



満たされない心に
何もかも積み込めば光はとめるのか
目に見えない神に
何もかも祈れば願いはかなうのか
身体(からだ)に触れる乾いた風が胸にしみた
左胸の小さな灯(ひ) 絶やさぬよう手をかざす

もしも 花々が咲き乱れ蝶達は舞い
木々が風に揺れ鳥達は歌う
そんな世界がかえてきたら
生命(いのち) 育む太陽へ手をかけ
大地とともに喜びの叫びをあげよう



この小さな思い
守りつづけると今誓おう
ぬくもりと光あふれる地球(ほし)に生きる
そのために

詩集「希望」(NHK全国学校音楽コンクール第70回記念課題曲応募詩 優秀作品集)に収録されていた中学生、瀬戸さんの詩をテキストにした合唱曲です。孤独と絶望の中にあっても決して希望を失うことなく、美しい地球を守っていくという決意に満ちあふれています。

<お詫びと訂正>

前回の『とみたん第38号 12/16付』で特集した「時事問題にチャレンジしよう」の答えに誤りがありました。問3:ノーベル各賞の中で、平和賞はまだ日本人の受賞者がいない。答えは○としていましたが、正解は×です。1974年に佐藤栄作氏が、非核三原則の制定などでノーベル平和賞を受賞しています。お詫びして訂正します。

阪神・淡路大震災25年

くしくも音楽会があった1月17日は、6434人が亡くなった1995年の阪神淡路大震災から25年となる日でした。

神戸市をはじめとする4市と淡路島で、あの日午前5時46分、震度7というとつもない揺れが襲いました。テレビに映し出された、倒れた高速道路やビル群、燃えていく住宅などの惨状に目を覆うばかりでした。

多くの人々が被災地に駆けつけ、ボランティア活動が本格的に始まり、「ボランティア元年」とも呼ばれました。この日は各地で追悼行事があり、鎮魂の祈りに包まれました。

2年生の歌った2曲には、ふるさとの大切さと、かけがえない命への喜びが歌詞に込められています。絶望の中にも希望の光を見つけ、その灯火を絶やさず、光に向かって一歩ずつすすんでいこうという誓いが歌われているのです。

被災者の高齢化、記憶の風化という課題が突きつけられています。忘れてはならないメッセージが込められたこれらの歌を通じて、追悼の祈りを新たに込めていきましょう。



毎日の生活を見直そう

日々の学校生活を見直しましょう。チャイム着席、授業、休み時間の友だちとの過ごし方、学級での話し合いのようすなど、まだまだできていないところがあるのではないのでしょうか。

わかっているも前向きに取り組めない気持ちの裏側には何があるのでしょうか？ そこには、「面白かったらそれでいい。」「誰かがやってくれるだろう。」という無責任な心が見え隠れします。

みんなができる当たり前のことを追求して、毎日地道に取り組んでいくことが大切です。学級で、今一度目標を立ててみましょう。

「あいさつをする」「授業をしっかりとる」「話し合いをしっかりとる」「悪い言葉を使わない」「ちよっかいをかけない、かけさせない」「かたまたまにみんなと仲よくする」「人の話をしっかりと聞く」などの具体的なものを追求しましょう。

終わりの会でしっかりと守れたかどうかを確認し反省してることが大切です。今こそ"ワンチーム"を目指しましょう。